MITSUBISHI

0708873HD9303

斜流ダクトファン

形　名

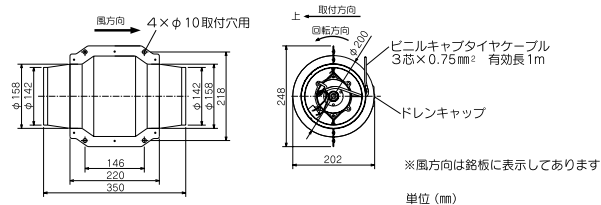
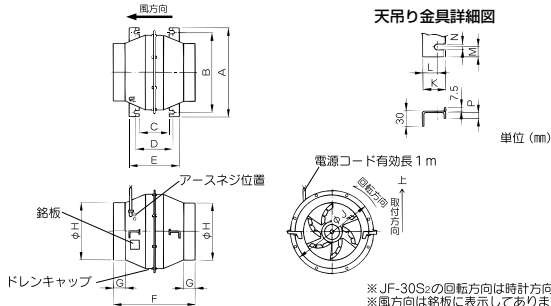
JE-15S1

JF-30S2・65S1・80S1・100S1・150S1・200S1・250S1

JF-80T1・100T1・150T1・200T1・250T1・350T1・450T1・550T1（標準形）

JFU-30S2・65S1・80S1・100S1・150S1・200S1・250S1

JFU-80T1・100T1・150T1・200T1・250T1・350T1・450T1・550T1（消音形）

取付工事・取扱説明書

お客さまへ

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

工事店さまへ

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。
取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

■この製品には単相製品と3相製品があります。電源を確認して取付工事を行ってください。

■取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

1 安全のために必ず守ること

（お客さまへ）（工事店さまへ）

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

お客さまへ

⚠警告

水ぬれ禁止

- **製品を水につけたり、水をかけたりしない**
  ショートや感電の原因。

分解禁止

- **どんな場合でも改造はしない 分解修理は修理技術者以外の人は行わない**
  火災・感電・けがの原因。
  修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。

接触禁止

- **運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない**
  けがの原因。
- **電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（こげ臭いなど）・停電時は、製品には絶対にふれない**
  突然運転し始めてけがや感電の原因。

ぬれ手禁止

- **ぬれた手で操作をしない**
  感電やけがの原因。

指示に従う

- **お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切ってから行う**
  感電やけがの原因。

⚠注意

禁止

- **製品に異常な振動が発生した場合は使用しない**
  製品・部品の落下によりけがの原因。

指示に従う

- **長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカを切る**
  絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。

工事店さまへ

⚠警告

禁止

- **爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には取付けない**
  爆発や火災の原因。
- **定格電圧・定格周波数以外では使用しない**
  火災・感電の原因。
- **燃焼器具の排気ダクトには取付けない**
  火災の原因。

指示に従う

- **煙突で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気に使用する場合は、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な大きさの給気口を設置する**
  一酸化炭素中毒を起こす原因。
- **メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、製品および金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける**
  漏電した場合、発火の原因。
- **漏電ブレーカを必ず取付ける**
  漏電のときに感電の原因。
- **保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切ってから行う**
  感電やけがの原因。

アース確認

- **アース工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
  故障や漏電のときに感電の原因。

⚠注意

禁止

- **直接炎があたるおそれのある場所には取付けない**
  火災の原因。
- **温度−10℃〜+40℃を超える空気を製品内に通さない**
  故障の原因。
- **湿度90%以上の空気を製品内に通さない**
  感電や火災の原因。
- **製品は屋外など雨のあたる場所や浴室など湿気の多い場所（湿度90%以上）には取付けない**
  感電や火災の原因。
- **製品の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う**
  落下によりけがの原因。

指示に従う

- **配線工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。絶対に「手より接続」はしない 又、電源電線の結線部分は JIS C 8340 の「電線管用金属製ボックス」内にて行う**
  接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
- **開梱・取付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する**
  端面などでけがの原因。

2 取付け前のお願い

（工事店さまへ）

規　制

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用しなければならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。（φ150以下の場合のみ）
- 配管用システム部材については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

注　意

- 製品の使用条件は、本体周囲・搬送空気ともに温度−10℃〜+40℃、常温において相対湿度90%以下です。この範囲を超えますと、焼損・変形・回転不良・破損につながるおそれがあります。
- 本製品は耐湿用途でのご使用はできません。

お願い

- 取付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には取付けないでください。
  - ・40℃以上になる場所　・−10℃以下になる場所　・氷結するおそれのある場所
  - ・腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所　・ほこりや油煙の多い場所
  - ・結露するおそれのある場所
- ダクトは雨水の侵入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけ、先端にウェザーカバー（市販品）などを取付けることをおすすめします。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）
  - 極端な曲げ　●多数の曲げ　●吹出口のすぐそばでの曲げ　●しぼり

3 外形寸法図

（工事店さまへ）

■ JE-15S1

※風方向は銘板に表示してあります

単位（㎜）

■ JE-15S1を除く標準形（JFタイプ）

単位（㎜）

※JF-30S2の回転方向は時計方向です
※風方向は銘板に表示してあります

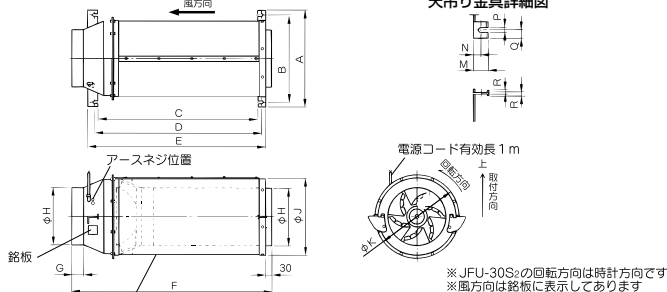
変化寸法表（標準形）　単位（㎜）

形　名	電源コード	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P
JF-30S2	A	340	300	80	113	170	280	50	200	300	45	28.5	20	11	12
JF-65S1	A	389	349	128	161	218	350	51	250	360	45	28.5	20	11	12
JF-80S1	A														
JF-80T1	B														
JF-100S1	A	450	410	144	177	234	400	55	300	430	45	28.5	20	11	12
JF-100T1	B														
JF-150S1	A														
JF-150T1	B														
JF-200S1	C	543	490	136	198	261	434	48	323	515	62.8	31.8	26.5	13	26.8
JF-200T1	B														
JF-250S1	C														
JF-250T1	B														
JF-350T1	D	583	530	218	280	343	500	62	400	555	62.8	31.8	26.5	13	26.8
JF-450T1	D	713	660	256	318	381	600	57	500	685	62.8	31.8	26.5	13	26.8
JF-550T1	D														

電源コード　A：ビニルキャブタイヤケーブル2芯×0.75㎟
　B：特殊耐熱ビニルキャブタイヤケーブル3芯×0.75㎟
　C：ビニルキャブタイヤケーブル2芯×1.25㎟
　D：特殊耐熱ビニルキャブタイヤケーブル3芯×1.25㎟

■消音形（JFUタイプ）

※JFU-30S2の回転方向は時計方向です
※風方向は銘板に表示してあります

変化寸法表（消音形）　単位（㎜）

形　名	電源コード	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R
JFU-30S2	A	360	320	627	660	706	790	50	200	274	300	30	34	17.5	11	20	7.5
JFU-65S1	A	417	377	689	722	768	860	51	250	331	360	40	34	17.5	11	20	7.5
JFU-80S1	A																
JFU-80T1	B																
JFU-100S1	A	478	438	722	755	801	910	55	300	392	430	50	34	17.5	11	20	7.5
JFU-100T1	B																
JFU-150S1	A																
JFU-150T1	B																
JFU-200S1	C	593	540	748	810	866	980	48	323	477	515	75	55	24	13	26.5	11.3
JFU-200T1	B																
JFU-250S1	C																
JFU-250T1	B																
JFU-350T1	D	633	580	788	850	906	1010	62	400	517	555	60	55	24	13	26.5	11.3
JFU-450T1	D	763	710	858	920	976	1110	57	500	647	685	75	55	24	13	26.5	11.3
JFU-550T1	D																

電源コード　A：ビニルキャブタイヤケーブル2芯×0.75㎟
　B：特殊耐熱ビニルキャブタイヤケーブル3芯×0.75㎟
　C：ビニルキャブタイヤケーブル2芯×1.25㎟
　D：特殊耐熱ビニルキャブタイヤケーブル3芯×1.25㎟

4 取付方法

（工事店さまへ）

1. 取付け前の準備

⚠注意

開梱の際は手袋を着用する。
端面などでけがをする原因。

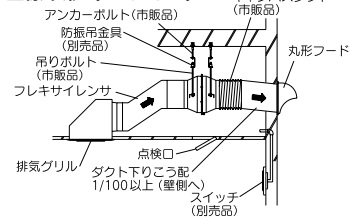
お願い

- **取付け、運搬作業の際、羽根を変形させないよう十分注意してください。**
  羽根が変形しますとバランスがくるい、振動・異常音発生などの原因となります。
- **吸込側には羽根にほこりが付着しないように、フィルタのご使用をおすすめします。**
  （フィルタの選定には種類・メーカーにより圧力損失が異なり風量低下をまねくおそれがありますので十分注意してください）
- **天井埋込取付けの場合、羽根・モータ等の交換作業の際、製品を天井より下ろす必要がありますので、製品サイズに合った点検口を設けてください。**

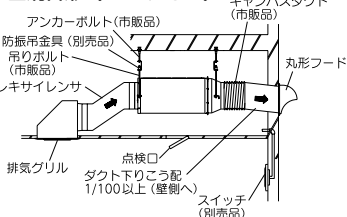
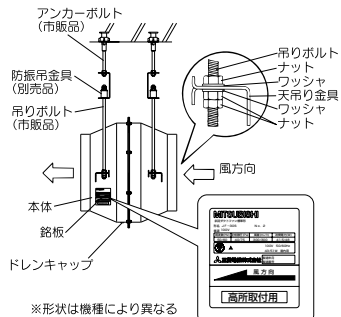
4 取付方法 つづき

工事店さまへ

取付例

■標準形（JF タイプ）

■消音形（JFU タイプ）

2. 本体の取付け

※形状は機種により異なる

1. 外形寸法図を参照し強固な取付場所に市販のアンカーボルトを埋め込む。（取付例参照）
2. 本体が水平になるように本体を吊りボルトに取付け、下表を参照して市販のワッシャ・ナットにて締め付ける。

形　名	ボルト・ナット・ワッシャ
JE-15S1	M８
JE-15S1を除く機種	M10

お願い

- ●垂直取付はできません。
- ●本体を取付ける場合、銘板に風方向が表示してありますので吸込側と吹出側を間違えないように取付けてください。
- ●振動防止のため、防振吊金具（別売品）をご使用ください。
- ●ドレンキャップは取付けた状態でご使用ください。
- ●ゆるみ防止のため、ダブルナットで確実に締め付けてください。

3. 電気工事前の準備

⚠警告

定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。
アースを確実に取付ける
故障や漏電のとき感電の原因。

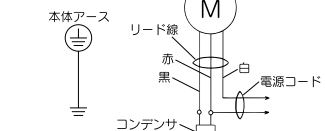
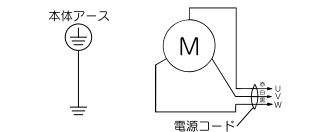
⚠注意

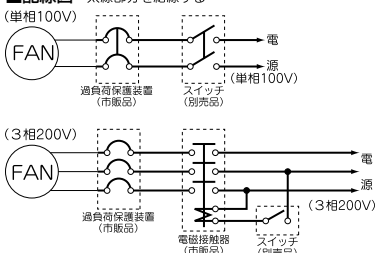
配線工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う
絶対に「手より接続」はしない
又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属ボックス」内にて行う
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。

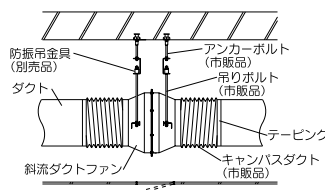
お願い

- ●モータの過負荷保護のため、モータブレーカ又は電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー）の過負荷保護装置を設置してください。過負荷保護装置は必ず機器１台ごとに取付けてください。
  過負荷保護装置は必ず機器１台毎に取付けてください。
  過負荷保護装置の選定は「⑧仕様」の最大負荷電流の 1.2～1.5 倍程度を目安にしてください。
  ただし、製品本体に過負荷保護装置の定格表示があるものは、表示内容に従い過負荷保護装置を設置してください。
- ●スイッチの容量選定は起動電流×接続台数の容量としてください。また、電磁接触器を操作するスイッチ容量は電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。
- ●３相 200V 製品はダクト接続する前に必ず回転方向を確認してください。電源接続を間違えますと逆回転します。回転方向が逆の場合は３本の電源のうち２本を入換えてください。

4. 電気工事

■結線図

1. 本体から出ている電源コードと電源線を接続する。
   ●製品には、単相 100V と３相 200V がありますので間違いないか確認して接続してください。
2. 電気工事士によるＤ種接地工事を行う。

■配線図　太線部分を結線する

※過負荷保護装置・電磁接触器はお客さま手配です。

5. ダクト工事

ダクトをダクト接続口にしっかり差し込みリベットなどで固定し、風漏れのないようテーピングする。

- ●ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊します。
- ●振動および芯ずれ防止のため、キャンバスダクトを使用します。

リベット固定位置に関するお願い

※リベット打ちは、ダクト接続口端面から30㎜の範囲内で行ってください。リベット先端と製品内部の羽根が干渉するおそれがあります。

お願い

- ●吸込側または、吹出側にダクトを付けないで使用する場合は、指などが入らないように保護ガード（市販品）を取付けてください。

5 試運転

工事店さまへ

取付け、ダクト工事、電気工事終了後は、必ず試運転を行い、正常に運転できることを確認してください。

1. 製品は確実に取付けてありますか。
2. 電源コードに傷、いたみはありませんか。
3. 正しくアース工事はしてありますか。
4. 過負荷保護装置は正常に作動しますか。
5. 異常な振動や騒音・風漏れはありませんか。
6. 回転方向は逆ではありませんか。（3相製品の場合、３本の電源のうち２本を入換える）
7. 羽根は回転しますか、回転は遅くありませんか。（回転しないか遅い場合は、結線が正しく行われているか確かめる）

6 使用にあたって

お客さまへ

■モータの軸受けには、両シールド玉軸受が使用してありますので注油の必要はありません。
異常音、風量減少などが生じた場合は、点検のうえベアリング交換が必要です。（グリースの寿命は、約１万時間です。）
ベアリングの交換は専門の工事店に依頼してください。ただし、以下の製品についてはベアリングの交換ができません。（モータ交換となります）
JE-15S1，JF-30S2，JFU-30S2

■羽根は、試験によってバランスが保たれていますのでていねいに扱ってください。
落したり、当てたりしないでください。

過負荷保護装置について

斜流ダクトファンには過負荷保護装置として、温度ヒューズまたは自己復帰形サーマルプロテクタを内蔵しています。過負荷・欠相運転あるいは拘束運転などの異常時に下記のように作動しますので処置をしてください。

■温度ヒューズ内蔵機種……JE-15S1、JF(U)-30S2
ヒューズが溶断し通電不能となり再運転できません。
処置：電源を切り、専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

■自己復帰形サーマルプロテクタ内蔵機種……JE-15S1、JF(U)-30S2を除くその他の機種
回転が一時的に遅くなって停止し、しばらくすると回転します。停止と回転を繰返します。
処置：電源を切り、原因を取り除いてモータが冷えてから再運転してください。
電源が入ったままになっていますと自動的に復帰し急に回転しますので注意してください。
それでも停止するときは電源を切り専門の工事店へ修理を依頼してください。

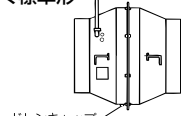
ドレンキャップについて ……標準形のみ

⚠注意

湿度90%以上の空気を製品内に通さない
感電や火災の原因。
製品は屋外など雨の当たる場所や湿度の多い場所（湿度90%以上）には取付けない
感電や火災の原因。
ドレンキャップを取りはずす前に必ずドレン受けを本体下部に置く
ドレンによる建物・機械などの損害の原因。
ドレンキャップは必ず常時取付けた状態で使用する
ドレンによる建物・機械などの損害の原因。

●本製品は耐湿形ではございませんので、耐湿用途・結露環境でのご使用はできません。万一本体内部に結露が発生するおそれのある場所でお使いの場合は、定期的に専門の工事店へドレン抜き作業を依頼してください。ドレン排水後は、必ずドレンキャップを付けてください。

■ JE-15S1

■ JE-15S1を除く標準形

7 アフターサービス

お客さまへ

三菱斜流ダクトファンのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱業務用／産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（添付別紙）にご相談ください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

補修用性能部品の保有期間

当社は、この三菱 標準形 斜流ダクトファン、三菱 消音形 斜流ダクトファンの補修用**性能部品**を製造打切り後７年保有しています。補修用**性能部品**とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8 仕様

お客さまへ　工事店さまへ

■標準形

形　名	電　源	公称出力 (W)	極　数 (P)	接続ダクト寸法 (㎜)	質　量 (kg)	最大負荷電流（A） 50Hz	最大負荷電流（A） 60Hz	起動電流（A） 50Hz	起動電流（A） 60Hz
JE-15S1	単相 100V50/60Hz	10	2	φ 150	4	0.3	0.33	0.39	0.39
JF-30S2	単相 100V50/60Hz	20	4	φ 200	4.5	0.47	0.51	0.88	0.85
JF-65S1	単相 100V50/60Hz	30	4	φ 250	7.5	0.58	0.71	0.85	0.84
JF-80S1	単相 100V50/60Hz	55	4	φ 250	8.5	1.01	1.06	2.4	2.2
JF-80T1	3相 200V50/60Hz	60	4	φ 250	8	0.59	0.52	1.78	1.7
JF-100S1	単相 100V50/60Hz	95	4	φ 300	14	1.37	1.78	3.1	2.8
JF-100T1	3相 200V50/60Hz	70	4	φ 300	14	0.47	0.54	1.4	1.3
JF-150S1	単相 100V50/60Hz	155	4	φ 300	15	2.57	2.7	8.3	7.5
JF-150T1	3相 200V50/60Hz	140	4	φ 300	15	0.67	0.83	2.7	2.4
JF-200S1	単相 100V50/60Hz	330	4	φ 325	19	2.47	3.6	8.4	7.4
JF-200T1	3相 200V50/60Hz	260	4	φ 325	19	1.08	1.27	5.3	5
JF-250S1	単相 100V50/60Hz	400	4	φ 325	21	3.9	5.4	17.5	15.5
JF-250T1	3相 200V50/60Hz	400	4	φ 325	21	1.95	2	11.5	10
JF-350T1	3相 200V50/60Hz	770	4	φ 400	28.5	2.3	3.15	14.5	13.5
JF-450T1	3相 200V50/60Hz	1100	4	φ 500	54	3.5	5.2	24.4	21.8
JF-550T1	3相 200V50/60Hz	1100	4	φ 500	55.5	3.9	5.3	36	32.8

■消音形

形　名	電　源	公称出力 (W)	極　数 (P)	接続ダクト寸法 (㎜)	質　量 (kg)	最大負荷電流（A） 50Hz	最大負荷電流（A） 60Hz	起動電流（A） 50Hz	起動電流（A） 60Hz
JFU-30S2	単相 100V50/60Hz	20	4	φ 200	11	0.47	0.52	0.88	0.85
JFU-65S1	単相 100V50/60Hz	30	4	φ 250	17.5	0.53	0.65	0.81	0.77
JFU-80S1	単相 100V50/60Hz	60	4	φ 250	17.5	1.01	1.07	2.4	2.2
JFU-80T1	3相 200V50/60Hz	60	4	φ 250	17.5	0.53	0.49	1.7	1.6
JFU-100S1	単相 100V50/60Hz	80	4	φ 300	24	1.37	1.78	3.1	2.8
JFU-100T1	3相 200V50/60Hz	75	4	φ 300	24	0.46	0.54	1.4	1.3
JFU-150S1	単相 100V50/60Hz	150	4	φ 300	26.5	2.15	2.6	7	6.4
JFU-150T1	3相 200V50/60Hz	145	4	φ 300	26.5	0.67	0.83	2.67	2.4
JFU-200S1	単相 100V50/60Hz	330	4	φ 325	36.5	2.47	3.6	8.4	7.4
JFU-200T1	3相 200V50/60Hz	280	4	φ 325	36.5	1.08	1.27	5.3	5
JFU-250S1	単相 100V50/60Hz	400	4	φ 325	39	3.9	5.4	17.5	15.5
JFU-250T1	3相 200V50/60Hz	400	4	φ 325	39	1.95	2	11.5	10
JFU-350T1	3相 200V50/60Hz	690	4	φ 400	46	2.3	3.15	14.5	13.5
JFU-450T1	3相 200V50/60Hz	1100	4	φ 500	78	3.5	5.1	24.4	21.8
JFU-550T1	3相 200V50/60Hz	1100	4	φ 500	79	3.9	5.3	36	32.8

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号 電話 0573−66−2111

この説明書は、再生紙を使用しています。